

関係各位

公開講演のお知らせ

2018年7月19日(木)

外国語学部准教授

若松 大祐

拝啓 平素は本学の教学に対して格別の御高配を賜り、ありがとうございます。

さて、このたび私の担当授業の一環として、講演会を企画いたしました。お誘いあわせの上、ご参加ください。参加を希望なさる場合は、それぞれ前日までに若松大祐へご連絡いただけますようお願いいたします。ただし、会場準備の都合上、飛び入り参加はお断りする場合があります。

敬具

若松 大祐 WAKAMATSU, Daisuke (Mr. Ph.D)

常葉大学外国語学部・准教授

〒422-8581 静岡市駿河区弥生町 6-1

常葉大学静岡草薙キャンパス A棟 5階 A508室

Tel: 054-297-6100 (代表) / 054-297-6190 (研究室直通、内線 4504)

Fax: 054-297-6101 (代表)

e-mail: dwakamatsu@sz.tokoha-u.ac.jp

<http://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/language/global-communication/wakamatsu>

<公開講演> いずれも 60 分の講演、20 分の質疑応答です。

(1) 7/17(火)4 限 15:00-16:30、教室 A428

尤淑君 (YU, Shuchun)、中国浙江大学准教授

「木宮泰彦教授の著作の中国語訳とその学術的影響」

『日華文化交流史』は日中関係史や（日本史の）対外交流史の研究分野では今なお先駆的存在です。同書の中国語訳が中国で与えた影響について考えます。（日本語への通訳あり。）

(2) 7/23(月)3 限 13:15-14:45、教室 C201

鐸木昌之 (SUZUKI, Masayuki)、赤穂観光大使

「東アジア情勢の急変：皆さん、自分の問題です」

日々のニュースをにぎわす北朝鮮情勢について、北朝鮮研究の世界的権威が歴史的な視野とフィールドワークに基づく感性から、わかりやすく解説します。

予習資料があります。当日午前 9-12 時に B404 で関連映像を視聴します。また、14:45-15:15 には C303 へ移動して歓談する機会を設けます。希望者は前日までにご連絡ください。

(3) 7/25(水)4 限 15:00-16:30、教室 C305

林世英 (LIN, Shih-Ying)、台北駐日経済文化代表処 教育組長

「台湾と日本の絆：教育・青年交流について」

日本から台湾へは修学旅行生や観光客がたくさん訪問しています。日本と台湾の教育交流について、駐日大使館に相当する機構で教育行政を取り仕切る立場から報告いたします。

(4) 7/26(木)3 限 13:15-14:45、教室 A520

宮内肇 (MIYAUCHI, Hajime)、立命館大学文学部准教授

「近代日本と中国語の一側面——私たちは中国語をいかにとらえてきたのか」

日本人は外国語である<中国語>をどのようにとらえ、いかなる目的をもって学習してきたのでしょうか。日本人にとっての中国語を歴史的にみることで、私たちの中国に対する理解や態度を考えてみたいと思います。

(5) 7/27(金)3 限 13:15-14:45、教室 A520

関智英 (SEKI, Tomohide)、明治大学兼任講師

「支那通のはなし—後藤朝太郎」

「通」と呼ばれる人々がおおり、かつて中国に詳しい人を支那通と呼びました。近代の日中両国において、彼らの果たした役割を考えます。

(6) 7/27(金)4 限 15:00-16:30、教室 A307

大江道雅 (OE, Michimasa)、明石書店社長

「誰が弱者をつくるのか」

明石書店は書籍を通じて、世界各地で生きる人間の姿を日本に伝えてきました。出版事業という立場から、共生と差別について話します。